明日はメーデー

槇村浩

青空文庫

古ぼけたぜんまいがぜいぜいと音を立てて軋(きし)る
もう十二時になるのに
あなたはまだ帰ってこない
くすぶった電球の下で
私はもう一度紙きれを拡げてみる
――八時までにはかならず帰る
　　待っていてください　T
前の道路を行くヘッドライトが
急に大きく
ぽっかりと障子にうつる
私はぎっくりして
寒い下着の襟をかき合わす
あなたはもう帰ってこない
あなたはセンイのオルグ
朝の四時
氷柱(つらら)を踏んで私たちが工場へ急ぐ時
あなたはニコニコ笑いながら
電柱のかげからビラを渡してくれた
――賃銀三割値上げしろ！
――労働時間を七時間に！
――鬼のような見番制を廃止しろ！
――外出、外泊、通信の自由をよこせ！
――全協日本センイ××（1）分会の確立へ！
ゴジックで大きく書かれたその文句は
焼けつくように私の眼頭(めがしら)にしみ込んだ

毎日毎日
あなたは電柱のかげに立っていた
氷雨(ひさめ)の降る朝でも
破けた傘にチビけた駒下駄(こまげた)をはいて
あなたは根気強くビラを渡してくれた
「ありがとうよ」
そういってビラを取る私たちの胸に
あなたの姿はなんというなつかしい印象を残したか
字なみの揃ったインクのかおりは
苦しい生活のなかで
どんなにか私たちを力づけたことか

そして私たちの分会ができた！
乾燥場の奥で私たちは最初の会合を持った
私たちのただ一つの組合である
全協！
その署名を見るたびに
私たちの胸には何かしら熱いものがこみ上げてきた
私たちはこの二字のなかに
全国の同じ工場のなかで
つきのめされ、疲れ切って
資本への憎しみにかたまっているおおぜいの兄妹を見た
旗をかかげ

腕を組んで
最後の日までのたゝかいに突き進む
何万の同志らの叫びを聞いた
私たちは集まって工新の発行を協議した
名前は「セリプレン」ときまった
「セリプレン」は二度めには百部出た
その時から
監督の顔色が険(けわ)しくなり
スパイが工場のなかをうろつき始めた
毎日
不眠で眼をまっかにはらした見番が
何人かの名前を読み上げた
そして
フミちゃんも
しづちゃんも
呼び出されたきり帰ってこなかった

「赤い」というのを口実にしてそろ〳〵首切りも始まったし
おまけに一時間の居残り労働
積立金はビタ一文くれないで
「お国のために」しがない給料から天引きせねばならんという
「戦地にいる兵士のことを思って」とぬかしやがった社長のハゲチャビンめ
だれが働き手を戦場に連れ出したんだ
だれがもうけるために戦争を始めたんだ

アジビラは毎日のように出たし
分会員の数は三倍にふえた
そこへ二割賃下げの発表だ
工場は急にどよめき出した
レンラクにいそいそとアジトへきた私なのに
立ち上がる日の近づいたという吉報をもって
あなたをよろこばせようとした私なのに
あなたはもう帰ってこない
どの街角であなたはあげられたのか
そして今夜
吹きっさらしの部屋のなかで
どんな拷問にあなたは耐えているのか

手紙を焼き
ガリ版をフロシキに包んで私は外へ出る
この寒空に
張っているパイ公もいないらしい
なつかしいアジトよ　さようなら
あなたは帰ってこないが
あなたは後にたくさんの若芽を残した

さあ今夜はビラまき
夜が明けたら
すばらしい野天の五月のお祭りだ

フミちゃんやしづちゃんや
そしてあなたへの復讐に
私たちの解放のために
みんな！
がっちり腕を組んでストにはいろう
――明日はメーデーだ

―一九三一・三・一七―

（1）片倉

青空文庫情報

底本：「槇村浩詩集」平和資料館・草の家、飛鳥出版室
　　2003（平成15）年3月15日
入力：坂本真一
校正：雪森
2014年9月11日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

明日はメーデー

槇村浩

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/